

令和元年7月のブログ記事

「先生のエネルギーが、よりよい社会を切り拓いていく人間を育む」
(府立東住吉総合高等学校パッケージ研修支援Ⅰ)

東住吉総合高等学校におけるパッケージ研修支援Ⅰ（1回目）の全体研修会を、7月11日(木)に実施しました。

はじめに大阪府教育センター指導主事が、パッケージ研修支援の意義や学習指導要領改訂の背景などについて講義を行いました。

続いて、5つのグループに分かれて、授業における課題について協議し、発表しました。司会の方が各班の意見をホワイトボードにまとめ、その中からキーワードを見つけていくと、各班からの意見が、いくつかの課題に整理されることが見えてきました。

その後、教科別にグループを組み直し、課題に対する対応策を考えました。それぞれの教科から、「成果を可視化させる」「ICTの活用」など様々な解決策や意見が出されました。またここでも、キーワードでつなげていくことで、いくつかの共通性を見出すことが出来ました。

約2時間の協議であったにもかかわらず、教員の話し合いは終始活発で、やる気にあふれていたのが印象的でした。

共通した課題を見出し、共通した解決策を立てたその先には、東住吉総合高校がめざす生徒像として掲げる「よりよい社会を切り拓いていく人間」があります。校内研修を通じて、一人ひとりの先生方の中に共通した生徒の姿を思い描くことが出来たのではないのでしょうか。

今回の研修では、今後取り組むべき方策について一定の方向性を見出し、共有することが出来ました。またそれ以上に、東住吉総合高校をより良くしていこうという教員のエネルギーを感じる事が出来ました。

大阪府教育センターは、今後も継続的な学校支援を行っていきます。



(高等学校教育推進室)